特集

まちの未来を考える

まちづくりナビ

第1回

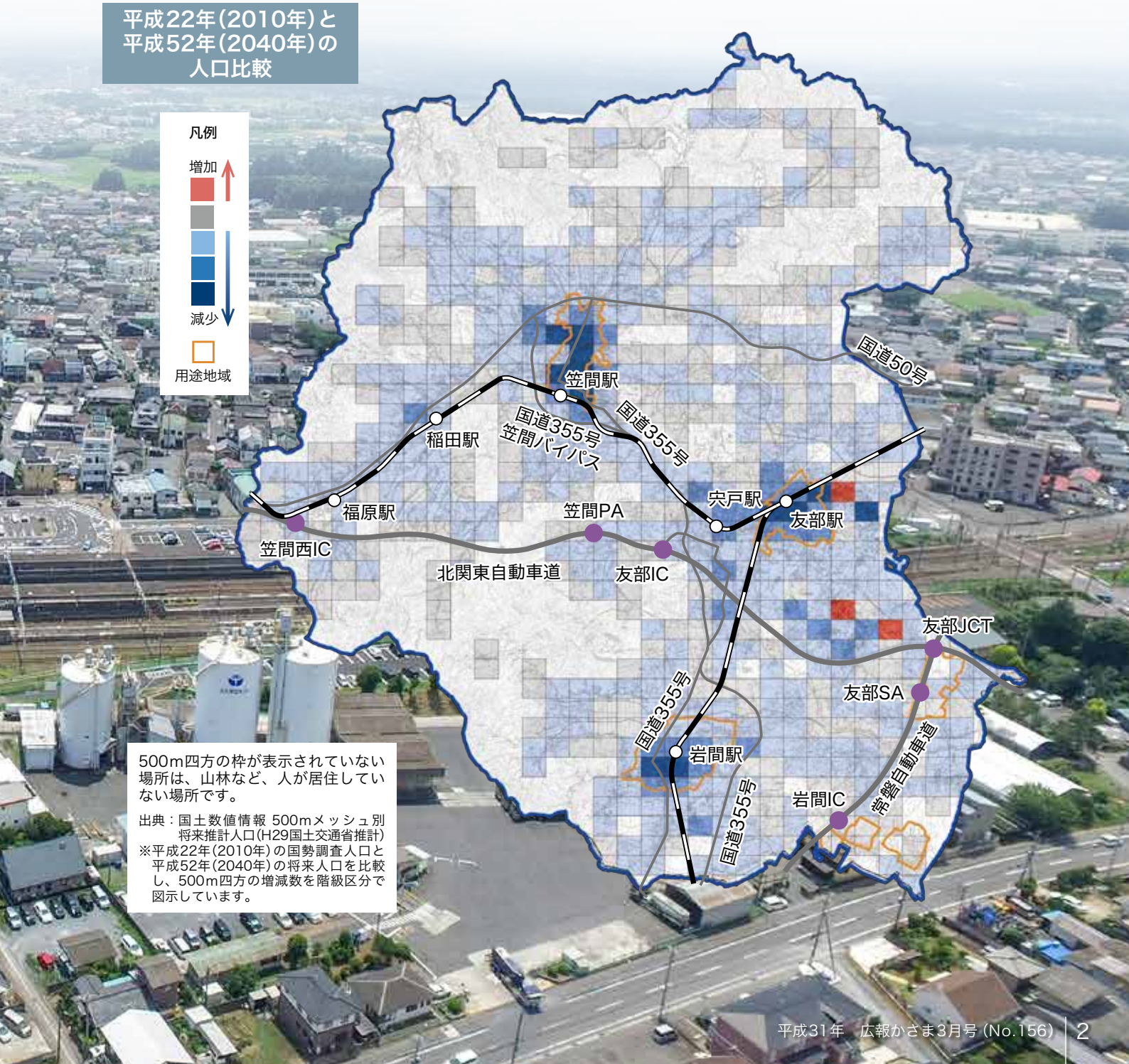
僕もお手伝いするよ！

笠間特別観光大使
笠間のいな吉®

まちづくりナビでは、皆さんの暮らしに関わるまちづくりの動向について、シリーズでお知らせしていきます。

笠間市では、人口減少や少子高齢化をはじめ、空家・空地や耕作放棄地の増加など、様々な課題を抱えています。これらの課題はお互いに関連しているため、ひとつずつ取り組むだけでなく、包括的に取り組むことで、時代にあった笠間らしいまちづくりにつなげる、新たな取り組みを始めました。

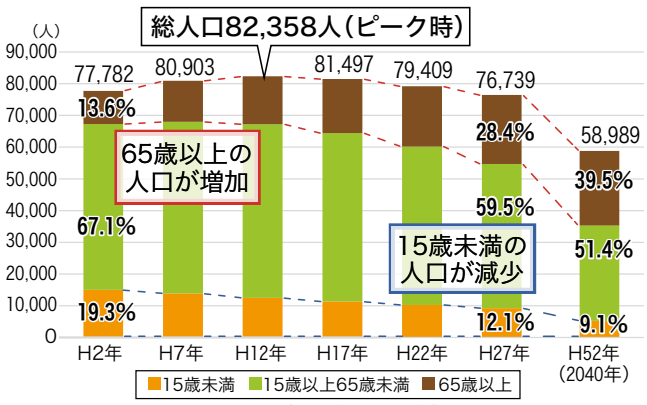
平成22年(2010年)と平成52年(2040年)の人口比較



500m四方の枠が表示されていない場所は、山林など、人が居住していない場所です。

出典：国土数値情報 500mメッシュ別将来推計人口(H29国土交通省推計)
※平成22年(2010年)の国勢調査人口と平成52年(2040年)の将来人口を比較し、500m四方の増減数を階級区分で図示しています。

笠間市の人口推移と予測



出典：国勢調査(平成2年～平成27年)
国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」

笠間市の人口推移の特徴

- 市全体の人口は平成12年(2000年)をピークに減少しています。
- 65歳以上の人口は増加しています。
- 15歳未満の人口は減少しています。
- 平成52年(2040年)には、人口は6万人を割り込み、特に用途地域内での減少が著しくなります。
- 用途地域外で将来的に人口増加が想定される地域があります。

笠間市の様子（一例）

皆さんがふだん暮らしている中で、もし心当たりがあったら、それは**まちの力が弱くなっているサイン**かもしれません。

公共交通

どこに行くにもマイカーだから、気にしなかったけど、路線バスって少なくなった？

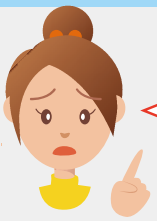
車で移動できなくなったとき、バスや電車といった公共交通が充実していないと、移動が困難になります。

商店街

お店が閉まっていて、なんだかさびしいな・・・

商店が減少すると、日常生活の利便性や、まち全体の魅力の低下につながります。

空家・空地



近所のおうち、誰も住んでないし、管理もされてないみたい

空家や空地の増加は、見た目としても良いものでなく、倒壊の危険性や、治安の悪化が懸念されます。

耕作放棄地

向かいの畑、最近使ってないみたいで荒れ放題になってるなぁ

雑草や害虫が増え、周辺の農地に影響をもたらしたり、ゴミの不法投棄につながったりします。

日常のふとした気づき、それって「まち」からのSOSかも…！

このままだと

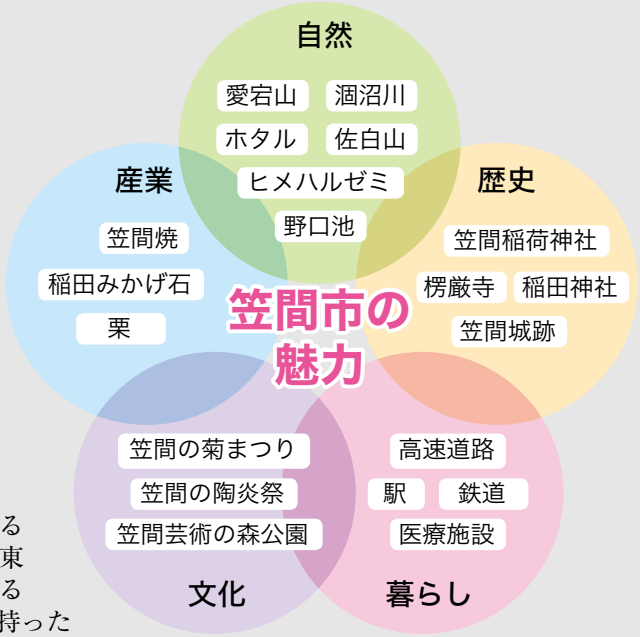
まちづくりの大きな課題に…

日常生活における「生活利便性が低下」することや、自然や歴史・文化など笠間市の特徴が損なわれることで、「都市の魅力の低下」を招いてしまいます。

生活利便性の低下　**都市の魅力の低下**

← この状況を止めるため、次のように取り組みます。

笠間市は「地域資源の宝庫」です。



・日本三大稲荷のひとつである笠間稲荷神社や、笠間焼、東京駅などにも使用されている稲田みかげ石など、魅力を持った資源がたくさんあります。

・愛宕山や涸沼川などの自然に恵まれています。

・高速道路のICはスマートインターも含め4か所あり、鉄道駅は6駅を擁する交通利便性の良いまちです。

笠間市には、魅力ある資源がたくさんあります。これらを生かすことで「まちの力」をアップしようと考えています。そのために「立地適正化計画」と「景観計画」を連動させる独自の考え方で、今よりもっと住みやすく、もっと魅力的なまちづくりを目指します。

「あつめる」「つなぐ」「魅力を高める」

をキーワードとして、市全体の魅力向上に取り組んでいきます。

地域の魅力アップ

・コンビニや小規模な商店、金融機関、診療所などの生活拠点機能を維持

・笠間市の歴史、文化、自然などのシンボル的な資源を生かした多様な交流

・豊かな自然や農業、歴史、文化と調和する美しい景観形成

・鉄道やバスなどで地域と市街地とのつながりの向上

市街地の魅力アップ

・中心となる市街地に、商業施設や病院などを集めた、利便性の高いまち

・市民みんなが集まりやすい、交通のターミナル

・まちの中心にふさわしい、賑わいや活気、おもてなしにマッチした景観

まちの魅力がアップすれば、ずっと住んでいたいまちになるね。

まちづくりの課題▶ 生活利便性の低下 / 都市の魅力の低下

まちづくりのキーワード▶ あつめる / つなぐ / 魅力を高める

- ■市街地や拠点に、人や産業を集積
- ■市街地と各地域のネットワークを形成
- ■市街地と地域拠点の連携
- ■地域の特性・個性を生かした景観保全
- ■魅力ある歴史的・自然的景観の保全向上

想定される効果

- 空家や空地が減少し、まちにはいつも活気があり、人や物やお金が集積
- 公共交通が維持され、通勤・通学や買物などの日常生活の利便性向上
- 鉄道や道路の充実により、市内外への移動も安全快適
- 店舗や病院などのサービス施設がまとまって立地し、日常生活は市街地で完結可能

- 地域に根付いた笠間市らしさの醸成
- 市民の郷土愛や誇りの増進
- 幅広い年齢層や多様な目的を持った観光客の増加
- 豊かな自然や農業、歴史、文化などの地域資源と調和する美しい景観形成
- まちの中心部の賑わいや活気のある景観形成
- 歴史、文化、自然の守り手の増加

効果実現のために取り組む計画

立地適正化計画

医療・福祉施設、商業施設や住居等を特定の区域にゆるやかに誘導するほか、公共交通等による市街地や各種拠点の連携を促進するための計画

景観計画

地域固有の歴史、文化、自然といった資源を美しく保ち、高め、新たに創造していくことにより、市全体の魅力向上や活性化につなげるための計画

今後に向けて

笠間市では、立地適正化計画は平成31年度、景観計画は平成32年度を目標に策定を進めています。

「広報かさま」への不定期連載となりますが、随時、この『まちづくりナビ』で、二つの計画についてお知らせしていきます。

【問い合わせ】都市計画課（内線586）